

SANS FRONTIÈRES

vol.59

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

3学期 ～1年間のまとめと次年度の準備～

3学期は短いけれど重要な学期です。

今年度、何を学びましたか？ 日々の授業内容、課外で学習したことは定着していますか？

教科だけではなく、日々の生活の中で、様々なことを学んだはず。クラスや部活の仲間や先生方との会話、行動から学んだことはありませんか？

校内にとどまらず、医歯薬講座で知ったことは忘れていませんか？ 社会のニュースはどうでしょう。現代の日本で、どんな問題がありましたか？ その対策は？

この1年で知ったこと、身につけたことが次の1年の基礎となります。不足していることがないか、点検を始めましょう。

共通テスト

1月14日(土)、15日(日)の2日間、共通テストが実施されました。

共通テストは一般に、

国公立大学…共通テスト利用推薦試験

一般試験(共通テスト+各大学の個別試験)

私立大学…一般試験(共通テスト利用入試)

という形で入試で使われます。

「大学入試センター」という組織が管理しています。正しい情報は大学入試センターのサイトで入手できます。



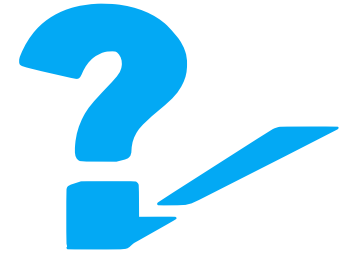
河合塾による、今年度の総評から、いわゆる知識問題の割合が減り、「知識を使った問題」が増えたことがわかります。

「なぜそうなるのか」「こうしたらどうだろう」

「こう考えてはいけないのかな」など、疑問や試行錯誤を試みるのが大切です。

また、「AはBである」という文から、「ということは、Cではないのだな」とか、「Dについては言及されていないな」という情報を読み取ることや、言い換えることも必要とされています。

より深い学習と理解が求められています。疑問や試行錯誤をしながら、「自分で考えること」を大切にしてください。



医歯薬講座 医師講演会



9月16日、現役の医師をお招きして医師講演会が実施されました。

「医師をめざす人へ」

筑波大学 地域総合診療医学

稲葉 崇先生

先生の体験をもとに、総合診療医として先生が取り組んでいることなど、具体的に講演してくださいました。

地域医療の重要性や、「総合診療科」がどういうものかということが、よくわかる公演でした。

医歯薬講座 研究発表会



2年生による研究発表会が開かれました。

9月29日に2年2組、10月6日に2年1組が、1年生の前で発表しました。今回は司会も2年生が行い、質問も多く出され、活気ある発表会になりました。

2年生は昨年度から研究を継続しており、6月の文化祭ではそれをポスターにまとめて展示しました。さらに研究を続け、発表の練習も重ねたため、皆、堂々とした態度で発表していました。

- ・薬学部薬学科 「天然物質と新薬開発」小暮紀行先生
 - ・保健医療学部 理学療法学科 「生活を支える理学療法」原 毅先生
 - ・保健医療学部言語聴覚学科 「聴覚イリュージョン 聞こえの不思議を体験しよう」大金さや香先生
 - ・成田保健医療学部 医学検査学科 「遺伝子検査でわかること」山口良考先生
- 難しい内容もありましたがコース生はメモを取りながら熱心に聴講していました。

医歯薬講座 1日 HR (1年生)



11月22日、1年生が1日HRとして福島県立医科大学見学を実施しました。

施設見学の後、模擬講義を受講しました。

医学部は泌尿器科学講座の教授で、医療支援用ロボット、ダヴィンチによる手術のエキスパート、小島祥敬先生の講義を受けました。

看護学部は、学部長の坂本祐子先生が「高齢者と転倒」について講義してくださいました。

医歯薬講座 国際医療福祉大学出張講義



10月14日、国際医療福祉大学の先生方による出張講義が開かれました。



医歯薬講座 いのちの学習会



12月8日、「いのちの学習会」が開かれました。臓器移植に関する講演会です。

今回の講師は、筑波大学病院の看護師であり、臓器移植コーディネーターとして活動なさっている、小笹雄司先生です。

コーディネーターとしての体験や、当事者のご家族の感情について講演してくださいました。

「家族と話すこと」「意思表示をすること」について考えるきっかけになりました。